

プリウスPHVには、トヨタホームの「V2Hスタンド」 V2Hスタンドで、 クルマを蓄電池として 活用しよう!

2020年3月末までにご契約!
先着50台

停電対策応援
キャンペーン

今なら V2Hスタンド設置費用から

15万円 (税別)

値引きいたします。

- トヨタホーム販売店にて、工事をご契約いただいた場合に限りです。
- 2020年3月末までにご契約いただき、2020年9月末までに工事を完了していただくことが条件となります。

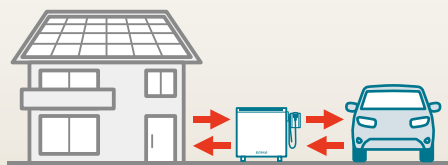
V2H(ブイツーエイチ)とは?

「Vehicle to Home」の略。

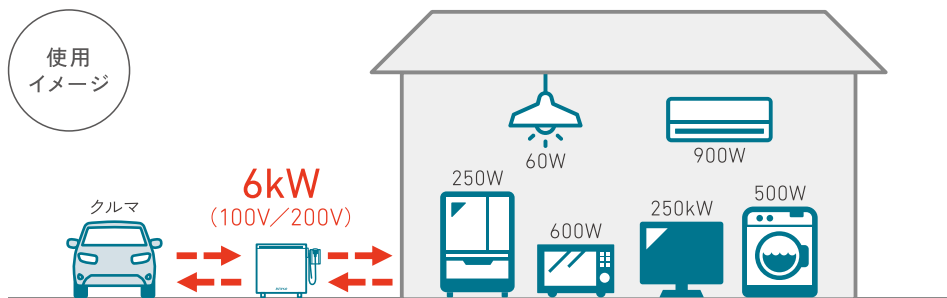
クルマ^{※1}に蓄えた電力を家庭内で使用できる仕組みのこと。

「V2Hスタンド」は、車から家への給電に加え、車を充電する「充電器」としても使用できます。

※1 2019年5月以降販売のプリウスPHVで急速充電インレット(車両オプション)が必要です。



停電時でもこんなに電気が使えます。

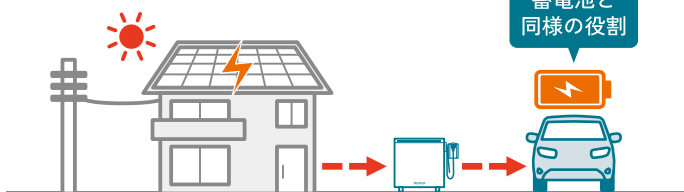


※太陽光発電のある方は、クルマへの充電と売電のどちらを優先するか設定することができます。
※製品によっては正常に作動しない場合やご注意いただきたい事項があります。

V2Hスタンドがあれば、
停電時でも最大約6kW
までの電化製品を
同時に使えます!

プリウスPHV + V2Hスタンド だからできること

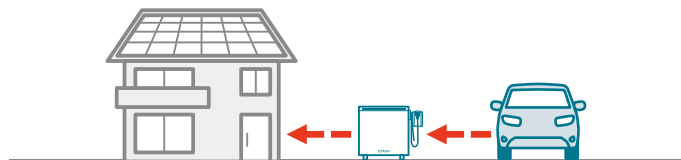
クルマに電力を蓄え、必要な際に電力を家で使用可能です。



一般的な蓄電池と比べて、大容量の電気を給電可能です。^{※1}
特定の回路だけでなく、家全体に給電することが可能です。^{※2}

※1 V2Hスタンドには「蓄電」機能はありません。
※2 電気の契約容量が15kVA以下の場合。

PHVであればEVと異なり
自家発電機として使えます。



プリウスPHVなら車のバッテリーが空になっても、「バッテリーチャージモード」^{※1}(エンジンによる発電)を使って、繰り返し給電が可能です。バッテリー満充電・ガソリン満タンの場合、一般家庭約4日分^{※2}程度の電力をまかなうことが可能です。

※1 「バッテリーチャージモード」使用中は給電できません。
※2 一般家庭での1日あたりの電力使用料を約10kWh/日とした場合。

本体価格 **878,000円**(税抜き)

一般的な戸建て住宅へ設置した場合の設置費用の目安 ▶ 約130万円(税抜き)~(本体+工事)

V2Hスタンドがあれば、 プリウスPHVを もっと活用できます！

業務用車両(社用車)としてプリウスPHVを使用されている
事業主・法人様に特におすすめなのがV2Hスタンド。
充電速度が従来品の2倍となり、利便性を大幅にアップさせました。
ガソリン代の削減や、クルマの稼働率向上に貢献します。

クルマを
蓄電池と
して活用。
BCP対策や
地域貢献に。



クルマの
充電時間を
約1/2に
短縮！

2020年3月末までにご契約!
先着50台

停電対策応援 キャンペーン

今なら V2Hスタンド設置費用から

15万円(税別)

値引きいたします。

- トヨタホーム販売店にて、工事をご契約いただいた場合に限りです。
- 2020年3月末日までにご契約いただき、2020年9月末日までに工事を完了していただくことが条件となります。

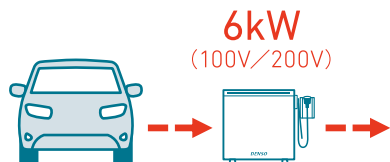
プリウスPHV^{*1}の場合

※1 2019年5月以降販売モデル



停電時にオフィスや 店舗で電気が使えます。

非常時稼働
設備例
イメージ



同時に使用できる電気製品の例		合計5.5kW	
照明(蛍光灯2本) 70W(0.7A)	20台	エアコン 900W(9A)	1台
冷蔵庫 250W(2.5A)	1台	液晶テレビ 250W(2.5A)	1台
扇風機 150W(1.5A)	2台	ノートパソコン 150W(1.5A)	2台
電気ポット 900W(9A)	2台	携帯充電器 15W(0.15A)	20台

※上記の数値はあくまで使用電力の目安であり、電気製品や使用環境によっては、使用できない場合があります。
※電気の契約容量が15kVAを超える場合は、給電回路を既存分電盤から分離する必要があります。

お問い合わせ先

トヨタホーム株式会社
充電関連サポートデスク



0800-777-1152

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝・年末年始除く)
トラブルは24時間受付